

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報の公開について

当院では、下記の研究を実施しております。この研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に基づいて、研究対象者となられる方から同意をいただくことに代えて、情報公開することにより実施しております。

この研究の参加に同意いただけない場合又はこの研究に対する問い合わせは、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

記

【受付番号】 研究課題名	【04-007】 コロナ禍での腹部緊急手術—感染対策が及ぼす治療成績への影響—
研究の意義・目的	2019年末より発生し、その後、世界的に蔓延した新型コロナウイルス感染症（COVID-19）により院内の感染対策の態勢は大きく変化することになりました。入院前のスクリーニング検査や潜伏期間を見据えた感染防護措置など、従来と比較し時間的・人的負担も増加しました。このような負担は感染対策として重要である一方、緊急手術等が必要となる救急の患者さんへの治療に負の影響を及ぼす可能性が考えられます。しかし実際に、手術開始までどの程度の遅れが生じるのか、その後の治療経過にどの程度の影響が出るのかは明らかになっていません。本研究では、自衛隊中央病院で腹部緊急手術を受けられた患者さんを対象として、コロナ禍以前と比較することによりこの課題を明らかにします。
実施期間（西暦）	承認後～2025年12月31日
研究の対象	2014年1月から2022年7月までの間に自衛隊中央病院で腹部緊急手術（来院から24時間以内の手術で、あらかじめ計画されていた手術は除く）を受けられた患者さん約300名

研究の方法	<p>腹部緊急手術を施行した患者さんの、来院から手術までの時間と術後合併症、在院期間、転帰との関連をCOVID-19対策前後で比較検討します。その際、年齢、性別、基礎疾患、原疾患、術前身体所見、術前検査所見、手術内容等の因子も含めて統計学的に解析します。</p>
個人情報の取扱い	<p>本研究で取り扱う方の個人情報は患者番号のみです。その他の個人情報（氏名、住所、電話番号など）は一切取り扱いません。診療情報は自衛隊中央病院において個人情報をすべて削除し、第三者にはどなたのものか一切分からない番号に置き換えて使用します。</p>
研究機関代表者	<p>自衛隊中央病院長</p>
問い合わせ先	<p>自衛隊中央病院 所 属：診療科（第三外科） 担 当：山寺勝人（やまでらまさと） T E L：0 3 - 3 4 1 1 - 0 1 5 1（代表） 内線：6 2 4 4</p>